

# 議会に行こう！

東京都議会がにぎやかです。築地市場の移転問題で100条委員会の設置が可決されるなど、話題をにぎわしています。

国会では、大阪府豊中市の国有地が評価額を大幅に下回る価格で学校法人に売却され、安倍首相夫人が小学校の名誉校長に納まっている（2月に辞任）ことを追求された首相は、不正があれば議員を辞める！と国会答弁し安倍政治の根幹を揺るがす可能性が取りざたされています。

千葉県議会は3月1日の最終日まで激しい論戦が闘われ、県議の定数1減と選挙区の区割りを改正する条例が激論？の末、可決された様子はインターネットやTV中継で見ることができました。各地の議会も前後して開催されています。

新聞や、TV中継でも情報を知ることができるようになりましたが、やはり、ナマの迫力にはかないません。また、メディアからの情報は、受取るのみで、私たちの意見・感情が相手に伝わることはありません。

議会に傍聴に出向くことにより、私たちの意思が、議員や行政に伝えられます。議員に面会しなくとも、行政に意見を伝えなくとも、傍聴者がいることで意思は伝わります。あなたは、最近、議会に行きましたか？

## 女性議員を増やす新たな法案

千葉県議会は、女性議員の比率が9.4%です。千葉市議会は18%です。皆さんの住む市は、町は、女性議員の比率はどうか？

国会議員は衆議院は9.3%、参議院は20.7%です。

世界での位置づけを見ると、193カ国中163位とのこと。比率が高い国を見ると、6位のスウェーデンが43.6%と、男女比がほぼ半数の国も多くあります。

政治分野の男女の機会均等を是正するため、選挙の候補者数の男女を出来る限り均等にすよう、国会や地方議会も含め、政党に努力を求めめる法案が今国会で成立する見通しになりました。「政治分野における男女共同参画推進法案」です。

ハッ場ダムはいらぬ、という私たちの意見は、県議会で圧倒的多数を占める自民党系議員によって無視されました。

## 自民、公明は女性ゼロ

民主主義は多数意見を尊重することが基本です。しかし、議員選出の一票の格差が改正されても2.44倍の現状の中では、都市部の県民の声は県南部などの保守系議員の自民党一党支配により、県政の構造変革は至難の業と思われてきました。

ところが、男女共同参画推進法が施行され、千葉県女性県議の9.4%が当面目標の30%になるということは、20人の女性議員が誕生すること、これはまた、新人議員の誕生でもあります。

選挙の候補者数の男女をできる限り均等にするのは、政党すなわち党派ごとに、努力義務を課されて各党派の取り組みが問われます。

現在の千葉県議会は、最大党派の自民党は53人中、女性はゼロ。公明党も8人中、女性ゼロ。民進党は17人中、女性は3人で18%。共産党は5人のうち女性が2人で、40%。市民ネット・社民・無所属は4人中3人で75%、などです。

これが自民党に16人の女性議員候補、民進党に2人、公明党に2人の合計20人の新人議員が誕生する可能性が出てきたことです。自民党、公明党を加えても47議席以下となれば、千葉県政は改革の嵐に見舞われるでしょう。ハッ場ダムの追加工事は大きな争点となるに違いありません。

この新法の審議過程と、県政の動きを注目しよう。議会に行こう!! (村越啓雄)

